



さなぎ

～学校に行きたくない～

第2回

知るために、知らせるために、
ドキュメンタリーを観て語る

映画はその誕生の当初から、人々が集い、ともに鑑賞し、そして語り合うものとして世の中に訴えかけてきました。映画に映し出される人びとの人生や社会の諸側面から、私たちは国や時代を超えた学びを得ることができます。この会は、ドキュメンタリー映画を皆で鑑賞するとともに、その映画を作った監督をお呼びして、映画に込めた思いや制作エピソードを直に聞き、語り合うためのフォーラムの場です。

事前参加申し込み不要。
どなたでも自由にご参加
いただけます。

日時：2013年11月26日(火)15:00～17:40
場所：桃山学院大学2号館ハイビジョンシアター(2-301)

映画「さなぎ～学校に行きたくない～」上映
上映後、三浦淳子監督トークセッション

◆映画「さなぎ」(2012年・日本)について

長野県下伊那郡喬木村。天竜川の流れる豊かな自然に囲まれてすくすくと育ってきた愛ちゃん。元気いっぱい外で飛び回る愛ちゃんが小学一年生の二学期になって不登校に。どうしてこの子が不登校? 困惑しつつも、お母さんは、愛ちゃんの心に寄りそって、一日を生きるようになる。教員室や特別支援学級に居場所を見つけ、遊ぶことで次第に元気を取り戻していく愛ちゃん。小学三年生から大学生になるまでの愛ちゃんと家族、お友達の14年にわたる日々を描く。現在、全国で12万人もの小中学生が不登校という状態にあると言われている。世の中のスピードが加速し、効率が優先される厳しい環境の中、子ども達までもが激しい競争にさらされて、日々ストレスを感じているのだろう。この映画は、学校に行けなくなった一人の少女の日常をみつめることで、窮屈なシステムに飲み込まれ、涙々とする現代の私たちが見落としがちなくいのちの源>をくっきりと浮かび上がらせる。不登校という状況にあっても<自分の人生を自分なりのテンポで>成長していく少女とお友達の日々の営みには、キラキラ輝く<いのち>の姿がある。

◆三浦淳子監督(監督・撮影・編集)

1960年横浜生まれ。早稲田大学卒業。転形劇場での演劇活動の後、広告代理店に勤務しながら、私的ドキュメンタリーの映像制作を開始。1992年『トマトを植えた日』がイメージフォーラムフェスティバル大賞。1997年『孤独の輪郭』多摩美術大学卒業制作作品がイメージフォーラムフェスティバル特選。2004年東京都現代美術館アニュアル展出品2008年『空とコムロイ〜タイ、コンティップ村の子どもたち〜』が京都国際子ども映画祭長編部門グランプリ。

桃山学院大学 メディア教育研究会/社会学部/国際教養学部 共催

問い合わせ：桃山学院大学 入試・広報課

〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1番1号 TEL 0725-54-3131 (代) / FAX 0725-54-3203 / E-mail koho09@andrew.ac.jp URL <http://www.andrew.ac.jp>